四季の詩が流れる大地 －神舞う、ふるさと鶴居村－

鶴居村
Tsurui Village

トラクターアタッチメントによる地拵え現地検討会

平成23年11月30日

鶴居村森林組合

議　事　次　第

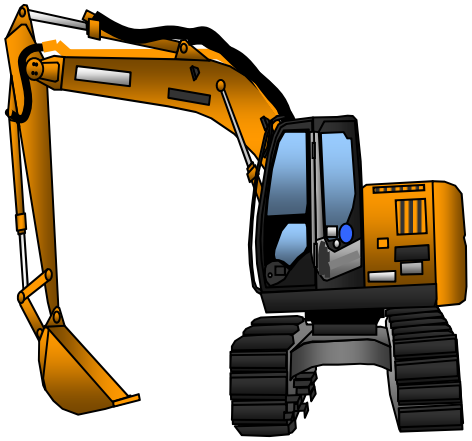
１．事業主体挨拶
鶴居村森林組合 代表理事組合長 松井廣道
２．事業内容説明　鶴居村森林組合
３．導入機械の紹介　ナカザワアグリマシーン㈱
４．オーストリア林業機械展の紹介
北海道立林業試験場　経営科長　渡辺一郎
５．現地検討会

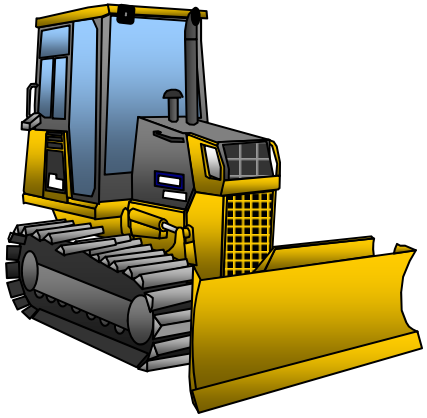
1）作業システム

⑩従来システム

・ブルドーザー、バックホウ（レーキ）等による枝条整理
その後刈払い機による刈払

・火入れによる地拵え。





2）従来システムの課題と問題点

⑩従来システム

・ブルドーザー、バックホウ（レーキ）等による枝条整理
その後刈払い機による刈払

・火入れによる地拵え。

・ロータリークラッシャーによる地拵え（バックホウ）

⑩問題点

・枝条等を谷筋等へ集積することによる植林面積の減少

・廃根線に有害動物（エゾヤチ鼠）が営巣しやすい。

・火入れの場合は山火事の危険がある。

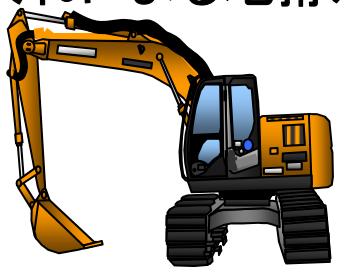
・回転する刃が剥き出しのため破砕物が飛散する。

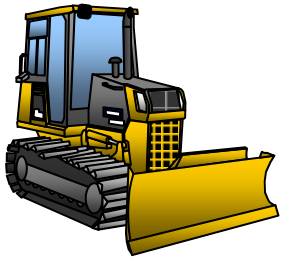
3）作業システム

⑩従来システム

・ブルドーザー、バックホウ（レーキ）等による枝条整理
その後刈払い機による刈払

・火入れによる地拵え。

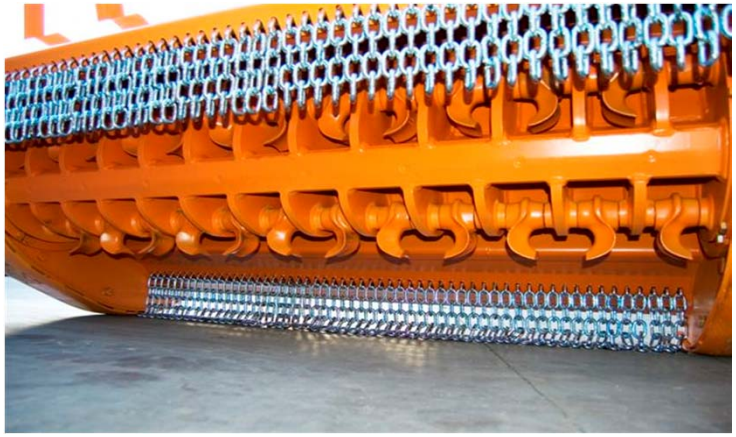




⑩トラクターアタッチメントによる地拵え

4）新システム導入機械（レンタル）

①トラクターの馬力にあった
　機械を選択
②地域の代理店等で修理対応が
　可能なメーカーを考慮

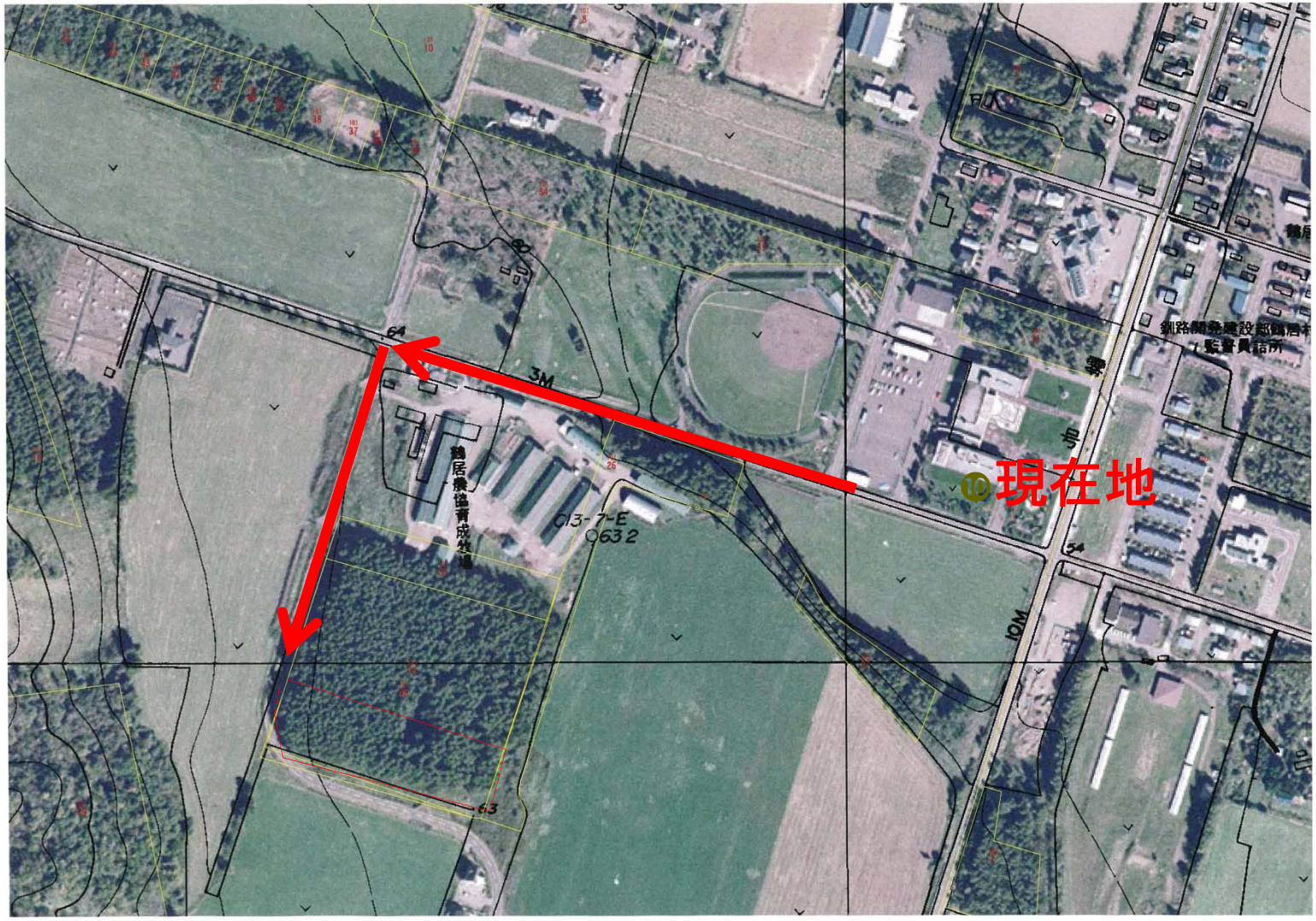


- 林業用クラッシャー　UFM
- LIPA社（イタリア製）
- 全　幅　：2.23m
- 作業幅　：1.89m
- 重　量　：1750kg
- 必要出力等：100kw(136ps)
- ハンマー数：36枚
- 回転数：1000回転/min
- PTOによる駆動

5）クラッシャー稼働状況

6）検討項目

①地拵えアタッチメントの作業工程の検証：1日当りの作業効率
②作業後の地表状況の検証：裁断枝条の量や土壌の物理性変化の確認
③作業可能条件の検証：傾斜、土質、植生、天候等の水分条件等
④植栽作業の効程改善効果
⑤活着率
⑥野鼠排除効果

⑩今事業においては地拵えまでの作業の実施になるため①～③までの検証を行う。④～⑥においては植栽が来年度以降となるため次年度に独自に観察及び検証を行う。

現地地図